

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2021年8月31日発行 (No.4) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

コロナによる現場の実態・事例を緊急募集！

さっそくお寄せいただいた声をご紹介します！

8月に兄弟3人がお父さんから感染、園は2日間閉園しました。濃厚接触者はいませんでしたが大変でした。日々職員、子ども達の健康状態の把握、密にならない保育の提供等、思いつく限りの対策はとっていますが、不安の中での保育です。保健所の対応が遅く(疫学調査)不安の中で時間が過ぎていき保護者にも負担をかけました。保健所の人員を増やすことだと思います。区には保健師さんが一人だと聞き驚きました。(大阪・保育園)

今はこどもの保育園が休園のために休んでいる職員と、代わりに出勤した職員の夏季休暇の取得が延期されている状況です。まだ子どもたちや保護者には影響していないと思います。今日、保育企画課に電話して現状を伝え、もっとひどくなら休園していいかきいてみた。いいとは言えない。努力して運営してもらえないのか。もし大変な状況になったら相談してくださいということだった。(大阪・保育園)

職場に職員が通常通り出勤できない場合どのように対処したらいいか、園児の休みの要請や、お弁当の設定などをしていように指針を設けてほしい。(大阪・保育園)

これまでに法人内施設で3回コロナ感染による休園措置を取った。また、いつ法人内で感染者が出るのか常に不安を抱えながら運営をしている。職域のワクチン接種も遅れ、定期的な検査が有効であることが科学的に証明済みであっても実施されない。依然として感染リスクの高い環境下で働く職員のやる気だけではもたない。(福岡・保育園)

赤枠：総合的な意見、情報

黄枠：現場で起きている問題

緑枠：職員や利用者等に与えている影響等

青枠：国や自治体への要望

「子どもにとって」最善の利益を保障しながら、できる限りの感染防止対策を講じているが、職員は疲弊しきっている。実際にコロナが不安(自身が感染することや感染源になること)で、離職を考えている職員がいるが、どうにか首の皮一枚でつながっている感は否めない。これ以上職員が不足すれば保育は崩壊しかねない。(福岡・保育園)

定期的なPCR検査の実施/保育所基準の改善/職員の処遇改善(福岡・保育園)

●「コロナ感染爆発！今、福祉の現場で何が起きているのか！事例募集中！」
書き込みフォーム

<https://forms.gle/M44xvT4iMxVHujzDA>



●9/10 事前学習会・9/22 政府交渉ともにオンライン (zoom)

●開催日

●9/10 事前学習会：9月10日(金) 10:00~12:00
ワクチン接種の状況把握アンケートの結果報告、要望内容の説明と交渉に向けた意見交換

●9/22 政府交渉：9月22日(水) 13:00~15:00

厚労省各部署・内閣府

●要望書：「新型コロナウイルス感染症対策にかける緊急要望書」

●対象：会員、非会員問わずどなたでも

●参加費：無料

新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急要望

9/10 事前学習会・9/22 政府交渉 参加確認フォーム

<https://forms.gle/4UqwSCLFndeE5VY97>

★11月24日には社会福祉事業全般の政府交渉を予定しています。

